

## 食品の安全性に関する用語集（抜粋）

**相対リスク RR:Relative Risk 【最終更新日 2021 年 3 月】**

## 疫学におけるリスク(Risks in epidemiology)

疫学研究では、ばく露による疾病発生の頻度をリスクと言い、以下のものがある。

## ①絶対リスク(Absolute Risk):

ばく露を受けた集団における疾病の発生する頻度(確率)。

**②相対リスク(相対危険)(Relative Risk):**

ばく露群と非ばく露群との間の疾病の発生頻度の比。

相対リスク＝ばく露群の疾病頻度÷非ばく露群の疾病頻度

※過剰相対リスク(Excess Relative Risk)

相対リスクからばく露がなくても発生する部分(すなわち1)を引いたもの。

過剰相対リスク＝相対リスク－1

## ③寄与リスク(寄与危険)(Attributable Risk):

ある疾病の発生頻度の中で、ばく露に起因する部分(差や割合)を表す指標。

ばく露群と非ばく露群の疾病頻度の差(リスク差)を狭義の寄与リスクという。

寄与リスク＝ばく露群の疾病頻度－非ばく露群の疾病頻度

ばく露群の疾病頻度のうち、真にばく露によって増加した部分の占める割合を寄与危険割合という。

寄与危険割合＝寄与リスク ÷ ばく露群の疾病頻度

## ④超過(過剰)リスク(Excess Risk):

ばく露群と非ばく露群との間の疾病の発生頻度の比又は差を意味する。発生頻度の比は相対リスクのことであり、発生頻度の差はリスク差又は狭義の寄与リスクのことであり。

**オッズ比 OR:Odds Ratio 【最終更新日 2021 年 3 月】**

オッズとは、ある事象が発生する確率と発生しない確率の比のことである。オッズ比は、オッズとオッズの比(比の比)であり、ばく露と疾病との関連の強さを評価するための指標として用いられる。ばく露と疾病との間に関連がなければオッズ比は1となる。ばく露が疾病の増加と関連があればオッズ比は1より大きくなり、ばく露が疾病の減少と関連があればオッズ比は1より小さくなる。

例えば食中毒調査では、ある食品について、食中毒(疾病)の発症者と非発症者の喫食(ばく露又は非ばく露)状況を調査し、そのオッズ比を求めることにより、原因食品としての可能性を検討する。

$$\frac{a(\text{発症群のうちのばく露者数})}{b(\text{発症群のうちの非ばく露者数})} \div \frac{c(\text{非発症群のうちのばく露者数})}{d(\text{非発症群のうちの非ばく露者数})} = \frac{ad}{bc}$$